

## 令和3年度（2021年度） シラバス

教科	国語	科目	国語総合(古典)	1学年	必修	3単位
科目の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高め、国語を尊重して向上を図る態度を育てる。					
教科書	高等学校国語総合改訂版 古典	副教材	新版七訂新訂国語便覧(第一学習社)・新版五訂完全マスター古典文法(第一学習社)・基礎から解釈へ漢文必携四訂版(桐原書店)			
準備物	教科書・ノート・完全マスター古典文法・漢文必携					

### 1 学習目標と評価（どのような力を、どのレベルまで身に付けるか）

観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
		話す・聞く	書く	読む	
旭東DP	【認知力】 【分析力】		【思考力】 【表現力】		【行動力】 【共感力】
割合	30%	15%	15%	30%	10%
A	伝統的な言語文化及び言葉のきまりや特徴などについて、十分身につけている。	目的や場に応じて的確に聞き取ったり、話し合ったりして自分の考えを十分深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを十分深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを十分深めている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を十分深めている、
評点	21～30	11～15	11～15	21～30	8～10
B	伝統的な言語文化及び言葉のきまりや特徴などについて、身につけている。	目的や場に応じて的確に聞き取ったり、話し合ったりして自分の考えを深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深めている、
評点	11～20	6～10	6～10	11～20	4～7
C	伝統的な言語文化及び言葉のきまりや特徴などについて、理解が不十分である。	目的や場に応じて的確に聞き取ったり、話し合ったりして自分の考えを深めることが不十分である。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深めることが不十分である。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めることが不十分である。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深めることが不十分である、
評点	～10	～5	～5	～10	～3
評価方法	定期考査 小テスト	表現活動	定期考査 提出物	定期考査	提出物

## 2 学習計画（いつ、何を学ぶか）

月	単元名	具体的な学習内容
4	一説話 児のそら寝・絵仏師良秀	歴史的仮名遣い・文節・単語・品詞について学習する。
5	二竹取物語 かぐや姫の生い立ち・かぐや姫の成長	用言について学習する。
6	前期中間考査	
7	漢文入門・成句格言を読む・故事成語 虎の威を借る	漢文のきまり、基本的な訓読の仕方について学習する。
8	蛇足・漁夫の利・伊勢物語 芥川	漢文の句法について学習する。助動詞について学習する。
9	東下り・筒井筒	助動詞について学習する。
前期期末考査		
10	史話 先従隗始・臥薪嘗胆 思想 論語・孟子	漢文の句法について学習する。
11	随筆 徒然草 ある人弓射ること・丹波に出雲という所あり	助動詞について学習する。
12	日記 土佐日記 門出・帰京	助動詞について学習する。
	漢詩 漢詩	漢詩のきまりについて学習する。
後期中間考査		
1	小説 雑説・桃花源記	漢文の句法について学習する。
2	軍記 平家物語 祇園精舎・木曾の最期	敬語表現について学習する。
3	紀行 奥の細道	
後期期末考査		

## 3 学習方法（どうやって学ぶか）

- ①音読を繰り返し、古文や漢文のリズムを体得する。
- ②文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにする。
- ③文法事項では、文語のきまり、訓読のきまりを理解する。
- ④口語訳を行い、文章の内容を正確に読み取る。
- ⑤古典常識の知識を深め、文章の構成を確かめたり、表現の特色をとらえる。
- ⑥文章に表れた人間、自然、社会などに対する思想や感情などの表現に即して読み味わう。
- ⑦自ら読み取った思想や感情などについて、感じ、考えたことを文章にまとめる。
- ⑧文章の背景に迫り、日本文化の特質や、日本文化と中国文化の関係について考える。